

家畜衛生広報

令和5年(2023年)8月9日

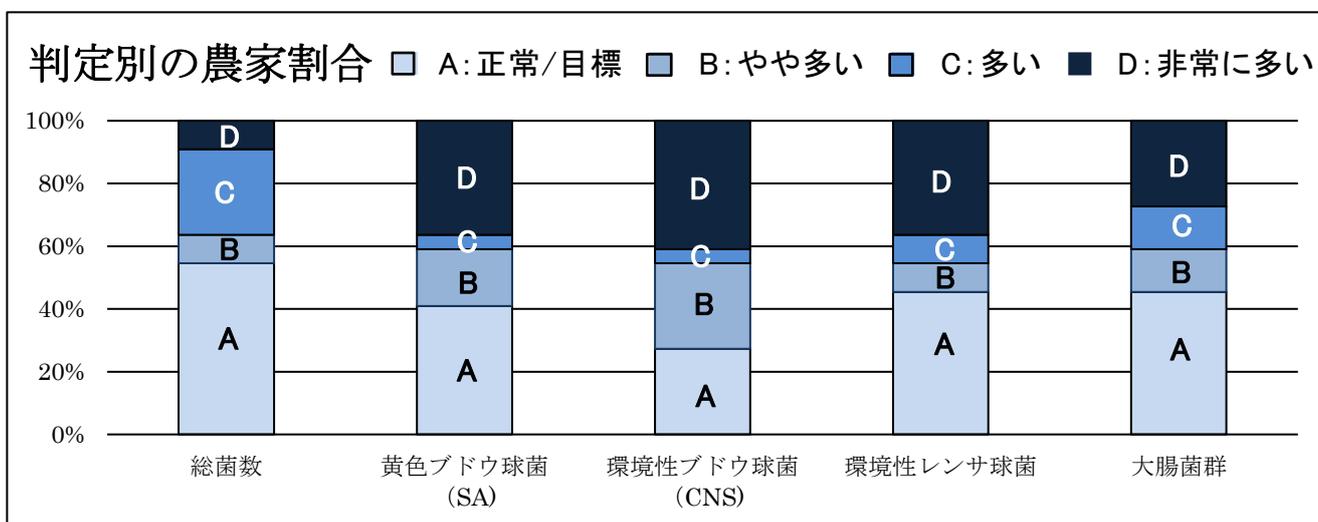


ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax. 026-227-2665

前期バルク乳検査の結果について

令和5年5月～6月に管内酪農家22戸で実施したバルク乳検査の結果を集計しました。
検査へのご理解、ご協力ありがとうございました。



無乳性レンサ球菌、マイコプラズマ及びBVDウイルス遺伝子は検出されませんでした。
また、耐熱性菌は全戸A判定でした。

検査結果に基づく対応



☆黄色ブドウ球菌が検出された場合

- ・搾乳者の手指、清拭用タオル、ミルカーなどを介して他の分房や他の牛に伝播します。
- ・搾乳時の適切な衛生管理で、感染牛を増やさないことが重要です。

☆環境性ブドウ球菌、環境性レンサ球菌が多い場合

- ・ミルカー等を介して伝播するほかに、不潔な飼育環境下で感染が起こります。
- ・搾乳衛生、環境衛生に留意しましょう。

☆大腸菌群が多い場合

- ・大腸菌群は、牛の糞便や牛床に存在します。乳頭清拭が不十分な場合、バルク乳内に混入します。
- ・牛舎内、牛体を清潔に保ち、搾乳衛生に気を付けましょう。



消毒は伝染病予防の第一歩